

「学会へ行こう」 北海道大会のエクスカージョンについてのご紹介

日本都市計画学会北海道支部 副支部長 小松正明

今年の学術研究論文発表会は、平成 29 年 11 月 11 日（土）、12 日（日）に北海道大学工学部で開催されます。また、これに先立ち、11 月 10 日（金）の午後に、小樽～余市方面を巡って「北海道産業今昔」をテーマにした見学会を開催いたします。

今回は北海道の食文化産業を切り口に、未来の北海道に花咲く地域の食文化として北海道のワイン産業を学びその代表として、余市のオチガビワイナリーを見学します。

そして次に、「ニッカウキスキー余市蒸留所」を視察し、北海道に新たな洋風の食文化産を夢見た竹鶴政孝の生涯を通じて、ウイスキーの歴史と文化を学びます。

それでは今回見学する内容について簡単にご説明いたします。

【北海道食産業今昔の見学箇所】

《その1 「オチガビワイナリー」》

地域をブランド化して6次産業で地方創生を図るワイナリーとして、オチガビワイナリーを見学します。

オチガビワイナリーの専務である落希一郎さんは、東京外語大学を中退してドイツでワインを学び、帰国後は小樽のワイン会社で修業をし、やがて独立して新潟でワイナリー事業を始め軌道に乗せました。そしてこれを息子さんに譲った後は、「自分の残りの人生でやりたいことをやろう」と、ここ余市で「オチガビ(OcciGabi)ワイナリー」という新しいワイナリー事業を始めました。



ワイナリーは余市町の山間で、谷を埋めて緩やかな斜面地を作ったところにブドウが植え収穫をします。山間の空間一面がブドウ畑になり、その真ん中に瀟洒なレストランを併設したワイナリーと店舗を展開しています。

そして、「北海道が産物を安く買いたたかれるだけの農産地になってしまわずに、六次産業ビジネスを行って、個々のワイナリーが少量のワインを高く売れるようなブランディングが必要です」とワイナリー哲学を語られます。北海道ならではの美しい自然に囲まれたワイナリーとワイン文化に触れて頂きます。

《その2 「ニッカウキスキー工場」による歴史的な北海道の食産業》

NHK の朝ドラ「マッサン」で有名になったニッカウキスキー蒸留所。創始者である竹鶴政孝が「日本で本物のウイスキーを作りたい」と情熱を燃やし、本場スコットランドに似た理想の地と認めたここ余市の地に、昭和9年に後のニッカウキスキーの前身である「大日本果汁株式会社」を設立し工場を造ります。「ニッカ」とは「大日本果汁」から来ている名前です。

蒸留所では世界的に見ても今では珍しい昔ながらの「石炭直火蒸溜」を行っており、「品質第一主義」を貫いた政孝のこだわりが今も続いています。

工場内は施設を自由に見学ができて、スコットランドで出会い終生



彼を支えた運命の女性リタと共に暮らした旧竹鶴邸も復元されているほか、ウィスキー博物館ではウィスキーに関する様々な資料を展示しているほか、試飲もできます。

歴史ある建築物の数々と、ウィスキーの文化について触れて頂きます。

《その3 車中での補助的説明》

なお、移動途中の車内では、オチガビワイナリーまでの道すがらに、「NPO 法人ワインクラスター」代表の阿部眞久さんから、北海道のワイン文化について説明をいただきます。

また、余市から小樽への車内では、「NPO 法人炭鉱（やま）の記憶推進事業団」常務理事の酒井裕司さんから、小樽と内陸部の石炭、そして製鉄産業へとつながる明治時代の北海道の産業の結びつき「炭鉄港物語」について、説明を頂くこととしております。

どうぞお楽しみに。

参考

オチガビワイナリーHP <http://www.occigabi.net/>

ニッカウィスキー余市蒸留所 <http://www.nikka.com/distilleries/yoichi/index.html>

2017年度（第52回）学術論文発表会

会場：北海道大学工学部（札幌市北区北13条西8丁目）

会期：2017年11月11日（土）～12日（日）

プログラム：

11月10日（金）余市方面「北海道食産業今昔」見学会

（詳細は下段を参照してください）

11月11日（土）・12日（日）論文発表会

参加費：一般4千円、学生1千円

【余市方面「北海道食産業今昔」見学会】（先着40名様）

11月10日（金）13時00分～17時30分 その後希望者による懇親会あり

集合場所 新千歳空港・11時の専用バスに乗っていただくか、13時にJR小樽駅・に集合

小樽駅13時発→14時からオチガビワイナリー見学→15時15分ニッカウィスキー蒸留所見学→17時30分小樽到着、

バスは札幌駅まで向かいますので、18時30分頃札幌駅にて現地解散 希望者がいれば、小樽または札幌にて懇親会

参加費：見学会参加費は無料（小樽駅までのJR料金、ならびに懇親会は各自負担）。

参加を希望される方は、hpcsenmu@hoso-jigyo.or.jp に、「小樽余市見学会希望、懇親会の参加希望、参加場所の希望（小樽または札幌）」「代表者名」「参加人数」を記入して、11月2日までにメールでお知らせください。